

株主のみなさまへ

..... Vol.51

株主通信 第114期第2四半期

2020年1月1日～2020年6月30日



SHIMANO

100th ANNIVERSARY
1921-2021

表紙：山梨県、野呂川水系における釣り風景

SHIMANO

100th ANNIVERSARY
1921-2021



代表取締役社長 島野 容三

事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴い、欧州では、消費者マインドが大きく落ち込む中、ロックダウン等の影響もあり景気は大幅に悪化しました。米国では、感染対策に伴う雇用減少もあり給与所得の落ち込みの影響から個人消費が大きく後退しました。経済活動再開の動きは広がったものの、景気の回復には至りませんでした。日本では、緊急事態宣言による外出自粛要請で個人消費は大幅に下振れし、経済活動の停滞とともに雇用所得環境等の経済基盤が損なわれ景気は後退しました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は160,255百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は28,674百万円(前年同期比15.8%減)、為替差益の計上等により、経常利益は36,131百万円(前年同期比4.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,206百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

自転車部品

欧州市場では、新型コロナウイルスが域内全域に広がったことから多くの自転車小売店が休業を余儀なくされましたが、外出・移動の規制緩和が進むにつれ手軽なレクリエーション、感染リスクの低い交通手段として自転車の需要が急速に高まりました。また、各国で自転車購入を後押しする補助金支給等の政策が打ち出されたこともあり、5月以降の市場在庫は低い水準で推移しました。

北米市場や中国市場においても欧州と同様に、自転車需要が高まり、市場在庫は5月以降低い水準で推移し、新型コロナウイルスの感染拡大が続いた南米市場では、自転車需要は堅調に推移し市場在庫も適正水準を維持しました。

日本市場では、緊急事態宣言による外出自粛要請の影響が大きく、一部で自転車需要の増加は見られたものの、軽快車・スポーツ車市場ともに販売は全体的に低調となりましたが、市場在庫は適正水準で推移しました。

このような市況のもと、マウンテンバイクコンポーネントの新型「Deore」は市場より高い評価を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は122,613百万円(前年同期比14.6%減)、営業利益は22,963百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

釣具

日本市場では、4月の緊急事態宣言後は比較的感染の少ない地域の需要、またイーコマースの販売を中心とした需要はあったものの、消費者マインドの低下により販売は一時的に落ち込むこととなりました。5月後半の緊急事態宣言解除後は、アウトドアレジャーである釣りを楽しむ消費者からの急速な需要の高まりを受け販売は急速に回復しました。

海外市場では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月以降は多くの国で外出規制がされ販売に影響が出ました。その後5月以降は、アウトドアレジャーとしての釣りが再評価され釣具への需要が高まる傾向となりました。

このような状況の下、北米市場では外出せずとも釣具が購入できるイーコマースが販売を下支えし、4月後半からの規制緩和

とともに釣具の需要も急激に高まり、販売は前年同期の水準まで回復しました。

欧州市場では、釣り自体が多くの国で禁止になったこともあり販売は低調に推移しましたが、6月以降欧州全域で回復傾向となり、販売は一気に持ち直しました。

アジア市場では、新型コロナウイルスの影響から回復した中国における販売は好調さを取り戻した一方で、その他の国では総じて低調に推移しました。

豪州市場では、ウイルス感染拡大の収束が早かったこともあり、4月後半から市場環境が一気に回復し小売店の仕入れは活況なものとなりました。

このような市況のもと、日本市場では、「Metanium」、「TWIN POWER」等の新製品や普及価格帯のスピンングリールが好調であり、海外市場のうち、中国では「LUNAMIS」等のスパイラルXコアを搭載したロッドが好調でした。

この結果、当セグメントの売上高は37,487百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は5,771百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

その他

当セグメントの売上高は154百万円(前年同期比9.6%減)、営業損失は61百万円(前年同期は営業損失33百万円)となりました。

中間配当のご報告

当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期と同様の1株当たり77円50銭とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期と同様の1株当たり155円を予定しております。

今後の見通し

2020年12月期の通期業績予想につきましては「2020年12月期第1四半期決算短信」の公表時において、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による当社業績への影響度合いを合理的に算定することが困難であったため、公表を取り下げ、未定とさせていただきます。この度、現時点で入手可能な情報や予測に基づき、業績予想を下表のとおり公表いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年9月

2020年12月期 通期連結業績予想数値の変更 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)	経常利益 (単位：百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (単位：百万円)	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	350,000	63,500	71,800	58,300	628.91
増減額 (B)-(A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績 (2019年12月期)	363,230	68,010	69,471	51,833	559.15

今回はシマノ本社の新しい研究開発棟であるTechnology Innovation Center (TIC) をご紹介いたします。



TICの外観(北側)

当社は、日本発の開発型製造業を本分として、「卓越した企画力」、「開発力」、「デザイン力」、そしてこの3つの力を現実のものとして作りあげ商品化する「製造力」、この4つの力をバランスよく向上させ、こころ躍る製品をお届けできるよう日々努力しています。

TICは、このような視点から自転車部品事業の企画部門および開発部門、そして、デザイン、品質管理部門を1つの建物に集結させ、効率よく、スピーディーな意思決定を行うことを目的とした研究開発棟となります。本格的な測定・実験設備も導入され、必要時速やかに実行できる環境を手に入れたことで上記「4つの力」をさらに高めています。

建物概要

敷地面積	18,986.01m ²
建築面積	6,754.31m ²
延床面積	24,063.99m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)
高さ	25.65m
階数	地上5階、地下2階(5階部分はビル管理施設のみ)
完成年月	2020年2月末



TICの外観(西側)



TICの外観(南側)



TIC周辺(北側庭園)

TIC周辺(西側樹壁)

TICの3階、4階は、フロア全体を見渡せる明るい大空間のオフィスになっており、研究開発に携わる部署を集約し、開発に関わる交流をより活性化することができるようになりました。

また、従来型のクローズな空間となる会議室に加え、オープンなミーティングスペースも充実しています。必要な時にすぐに簡単な打ち合わせができ、気軽なコミュニケーションを取りやすくなっています。気分転換をして仕事にメリハリを付けるための開放的で明るい休憩スペースも備えました。

このような環境の下、当社従業員からは、「意思決定の早さが向上したと感じる。」との声も上がっています。

研究開発のさらなる効率化を目指し、TIC内の1階から2階に渡って自転車のテストコースを設置しました。屋根のある部分もあり、本テストコースは天候にかかわらずいつでも試走を行うことが可能となります。また、自転車の組立や整備を行うことができるワークショップも本テストコースに隣接させ、工具も常備し、その場ですぐにメンテナンスを行うことができます。

また、TICには様々な場所に季節によってうつろいを見せる多種多様な花や樹々が植えられ、TICで働く従業員が仕事の合間に緑を見て心を和ませ気分を切り替えることができるようになっています。



本社MAP (赤丸がTICの場所)

『E-MTBのさらなる進化(EP8シリーズ)』



シマノから初めての本格的E-MTB専用のe-bikeコンポーネントとして登場したE8000シリーズは、2016年シーズンから4年経過した現在においてもその基本性能の高さにおいて世界中のライダーから今でも高い評価を受けています。

そのE8000シリーズを全てにおいて進化させた全く新しいE-MTB専用コンポーネント、EP8シリーズを2020年9月に全世界に向けて紹介させていただきました(日本での発売時期は未定です)。

このEP8シリーズでは主に3つの項目でさらなる進化を図りました。

1. よりトレイルライドでの自然なペダリングと走行性能をアップさせた出力特性
2. さらに軽量コンパクトと静かさを実現したドライブユニット
3. アシストモーターのパワー特性をきめ細かくカスタマイズ可能なプログラムシステム

これらの機能向上により、ライダーが必要とされる最適なアシストパワーを的確に駆動力に伝えることによって、さらにナチュラルでパワフルなE-MTBライディングを体験していただけるようになりました。

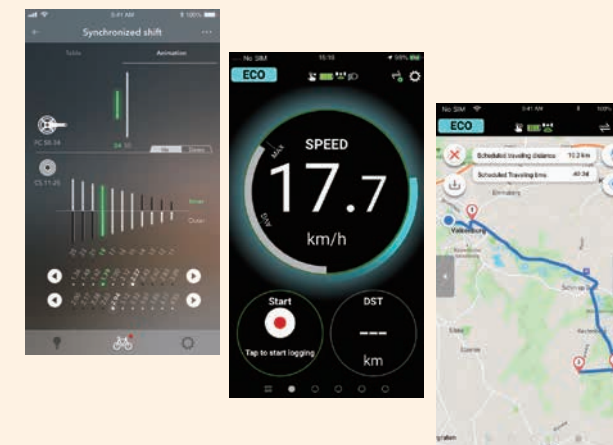
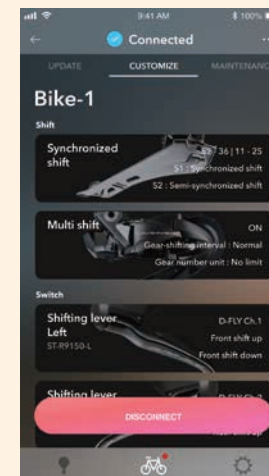
またEP8に対応するにあたってE-TUBE PROJECT(ソフトウェアのカスタマイズ用アプリケーション)もさらに進化を図り、スマートフォンで直感的にアシストプログラムを変更することによってアシストパワーの出力特性を簡単にカスタマイズできるようになりました。合わせて販売店向けの専用プログラムも用意し、シマノのe-bikeコンポーネント搭載の自転車を購入していただいた顧客に対して、販売店からよりきめ細かなメンテナンスサービスを提供できるようになりました。



E-TUBEアプリケーションのアップデート

EP8の公開に合わせてE-TUBE PROJECTとE-TUBE RIDEの二つのアプリケーションに新しい機能を加えることと、操作性の向上のために全面的に改良し、9/1にリリースしました。E-TUBE PROJECTはシマノの電動変速(DI2)やE-BIKEドライブユニット(STEPS)を搭載した自転車と無線で接続し、設定を行うためのアプリです。E-TUBE RIDEはシマノのサイクルコンピューターアプリです。シマノの無線ユニットを搭載しているバイクとBluetoothで接続もできます。

特にE-TUBE RIDEではGPS機能を追加することで目的地までの自転車ルートを検索して、アプリ内の地図上にルートを表示できるようになります。また走行ルートや速度、ケイデンスなどを表示・記録でき、それらのデータを外部のシステムに連携させることもできます。



『オートマチックに魚を誘い続ける画期的ルアー』 無限の可能性を秘めた新機構の開発



エサのように味も匂いもしない「ルアー」。このルアーを使う釣りの基本は、「動かして魚を誘うこと」です。釣り人がルアーを動かさなければ、ルアーはただの物体となり、決して魚を誘ってくれません。しかし、新たに開発したシマノオリジナルの機構「フラッシュブースト」は、その常識を覆し、止まっても魚にアピールすることができる画期的ルアーを誕生させました。

開発のきっかけは「動かさなくても、自動的に動いて魚を誘うルアーがほしい」という現場の声でした。開発陣は、リールを巻いたり、竿を動かしたりしなくても、持続的に魚にアピールできるルアーがあれば、もっと釣果を得られるはずだと考え、ルアー内部で何かが動き、それがキラキラと光輝けば、ルアー本体が動いて魚を誘うことと同様の効果が期待できるという結論に達しました。

試行錯誤を繰り返しながら、「ボディ内部に反射板（鏡面加工をしたプレート）をスプリングで吊るす」という構造にたどりつき、求める輝きや反射板の重さ、バネの強さや吊るす角度による振動や振幅の違いなどの検討を進めました。そして、それらすべてを計算式に落とし込んで数値として算出して分析しました。さらに、サンプルの制作と最適化へのチューニングを何度も重ねた結果、必要十分な耐久性の確保を成し遂げ、念願の「フラッシュブースト」を完成させることができました。

「フラッシュブースト」は2019年、初めてルアー3アイテムに搭載し、お客様から画期的なシステムとしてご好評をいただきました。2020年には、さらに「フラッシュブースト」を進化させるため、反射板を吊るす非常に繊細なバランスなど、これまでの設計データを

再検証した結果、それまでは不可能だった大きさの反射板をルアーに搭載できるようになり、対象魚や釣りの特性に応じた採用が可能になりました。たとえば、泡を出してマグロを誘う大型ルアー「オシア バブルディップ 220F フラッシュブースト」では、技術的に難しいとされていた大型一枚の反射板の搭載を実現し、水が泡立つ中でも、しっかりと輝きを出してアピールできるようになっています。

さらに、新たな挑戦として、イカ釣り用のルアー「セフィア クリンチ フラッシュブースト」などへと展開しており、誕生からわずか1年、さまざまなジャンルの釣りへと活躍の場を広げた「フラッシュブースト」が、これからも無限の可能性を秘めた新機構として、釣りの新たな地平を切り拓けるように、チャレンジを続けてまいります。

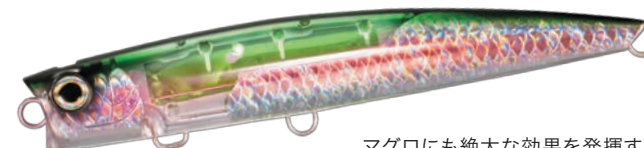
ルアーを動かさなくても、振動によって、高速で持続的にキラキラと輝いて魚を誘う



「フラッシュブースト」の内部プレート

ボディ内部で輝きを発する素材として、鏡面仕上げを施したプレートを採用。素材や形状、重さ、大きさなどは、さまざまなサンプルの試作を経て製品化していきます。

OCEA BUBBLE DIP 220F FLASHBOOST



マグロにも絶大な効果を発揮するフラッシュブーストを採用した「オシア バブルディップ 220F フラッシュブースト」。設計やカラーリングは、各地で得られた実績データに基づいて採用しています。

Sephia Clinch FLASHBOOST



「セフィア クリンチ フラッシュブースト」は、イカ釣りにおいて重要なアクションであるフォール*中も継続してアピールすることができます。

*フォール…ルアーを動かさずに水中に沈めていく動作

インストラクターと行く、夢の釣り体験 シマノドリームツアー

2015年から企画・開催している「シマノドリームツアー」は、2～3名のお客様にシマノ・インストラクターが同行して、夢の釣行をしていただくという内容です。

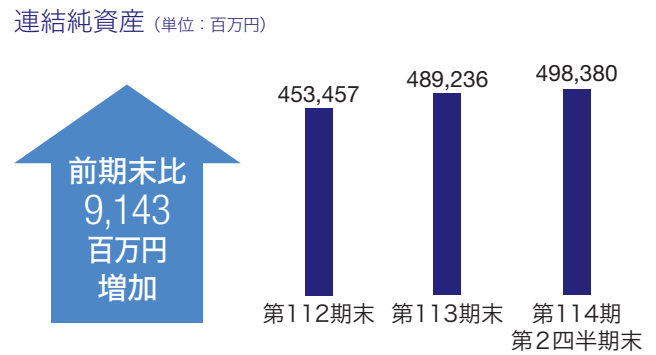
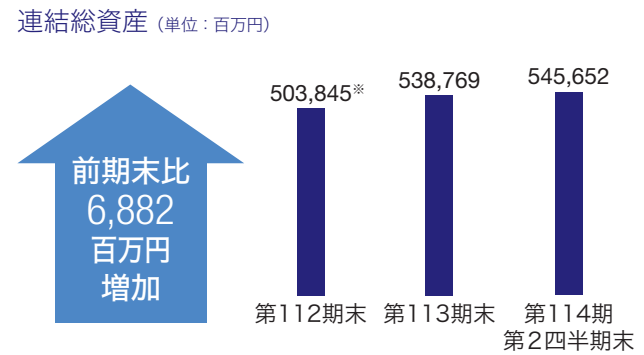
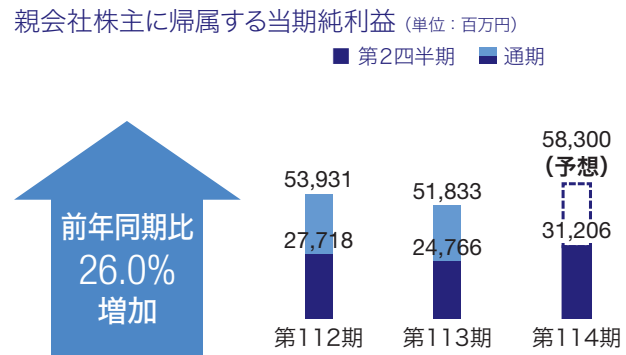
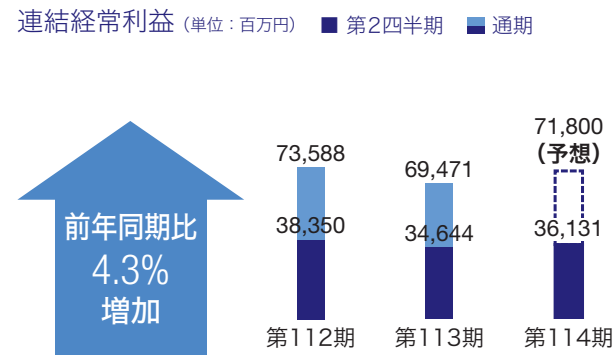
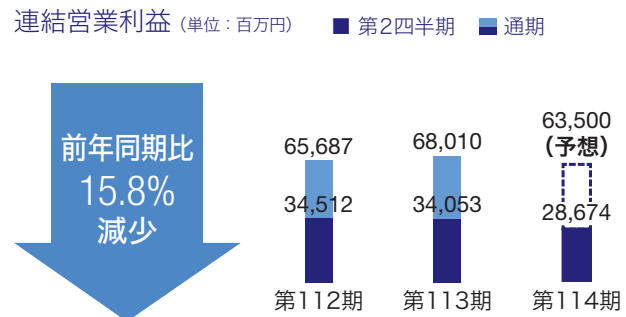
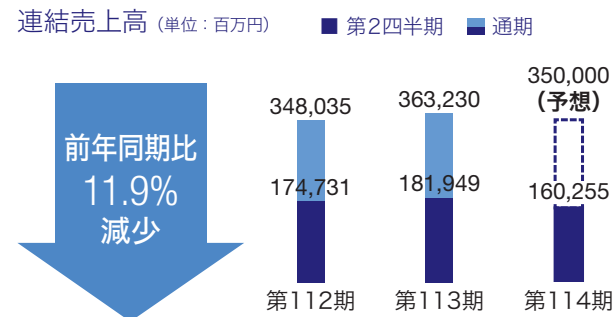
当初は、釣具宣伝のために企画したキャンペーンでしたが、2019年から「もっと多くのお客様の夢や憧れを叶えてあげたい」という想いから、宣伝要素をなくし、誰もが無条件で応募いただけるツアーへと進化させました。ツアー内容もさらに充実させ、インストラクターの出迎えからはじまるなど、単なる「釣り旅行」ではなく、お客様の「夢を叶える旅行」としてご好評いただいております。

また、最新2件の「シマノドリームツアー動画」を作成し、ホームページに掲載していくことで、多くの釣り人に「夢の釣行」を感じていただいております。

シマノドリームツアー で検索できます

釣りだけではなく、旅やグルメを楽しむことができるこのツアーのように、何より大切な「人とのふれあい」、「釣りが取り持つ心からの笑顔や夢」を感じていただける活動を、これからも続けてまいります。

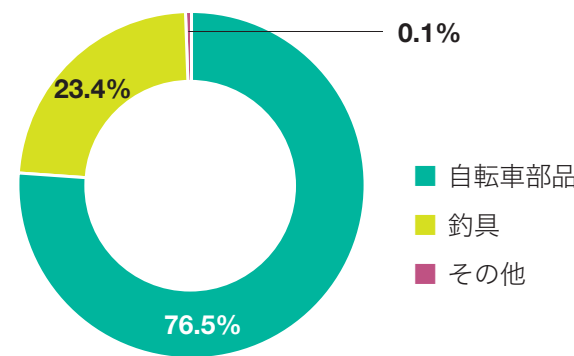




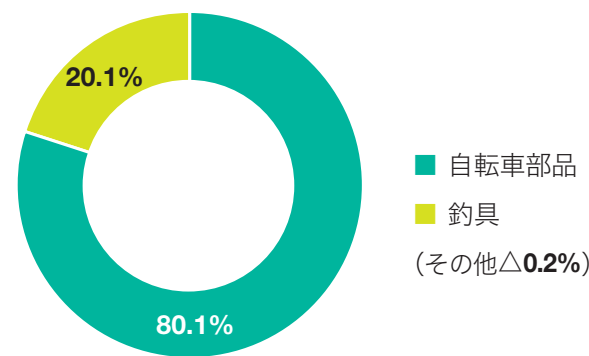
■ セグメント別の売上高と営業損益の状況

第114期 第2四半期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	122,613	△ 14.6%	22,963	△ 19.7%
釣具	37,487	△ 1.8%	5,771	5.5%
その他	154	△ 9.6%	△ 61	—%

セグメント別の売上高比率(第114期第2四半期)

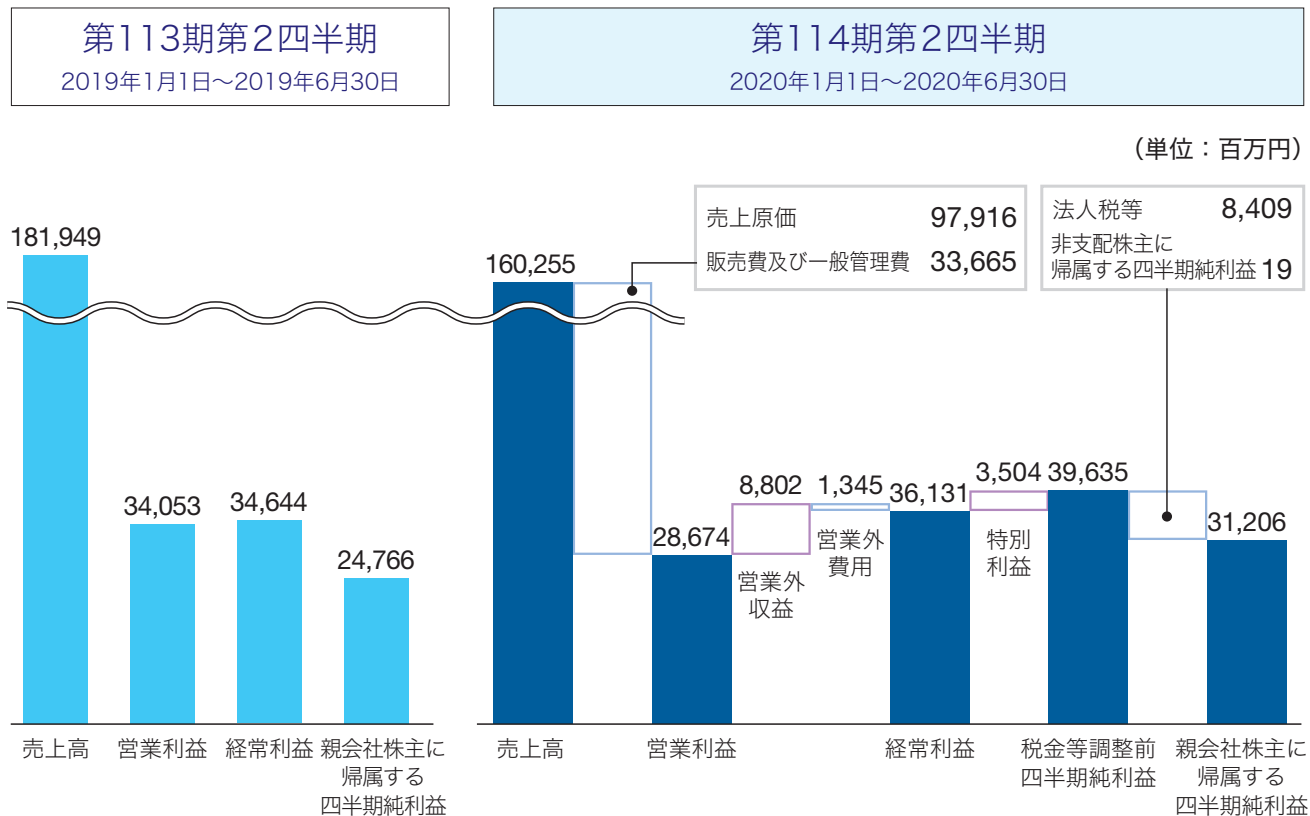


セグメント別の営業利益比率(第114期第2四半期)



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第113期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、第112期末の連結総資産については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

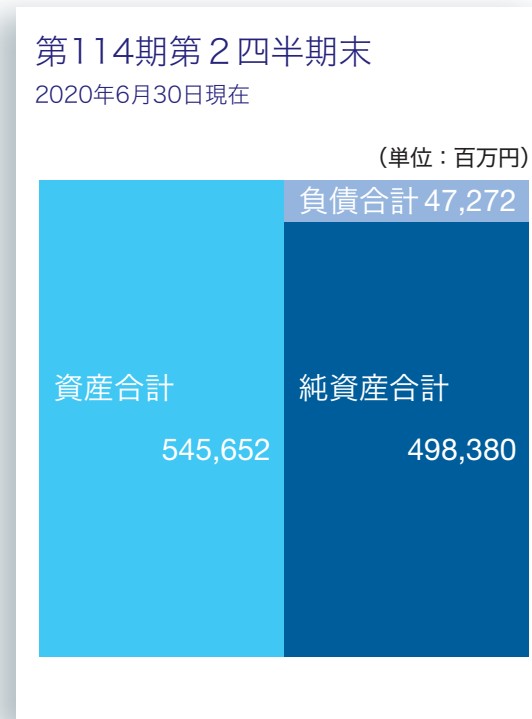
■ 連結損益計算書 (要約)



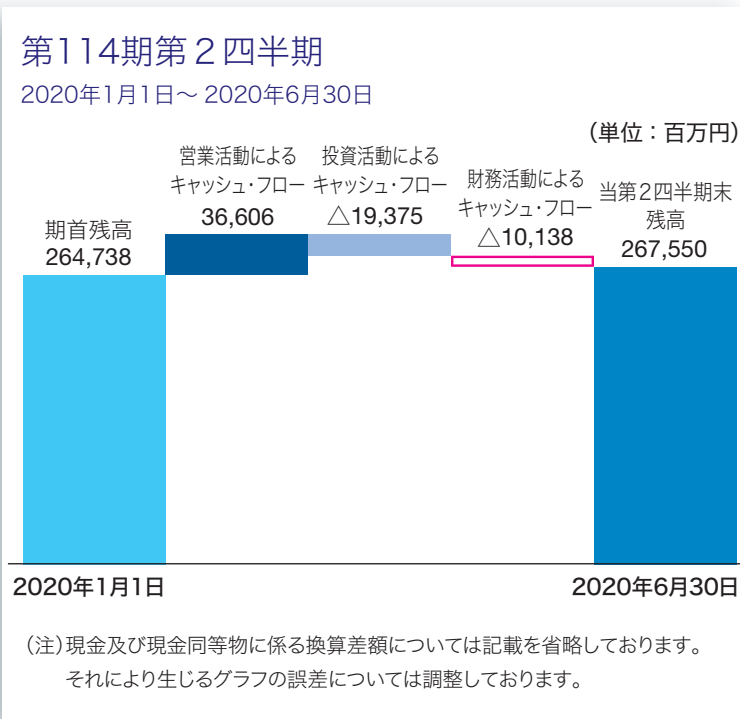
第114期予想 (連結)

項目	業績予想		項目	セグメント別売上高予想	
	金額	前年比		金額	前年比
売上高	3,500 億円	前期比 3.6%減	自転車部品	2,760 億円	前期比 4.8%減
経常利益	718 億円	前期比 3.4%増	釣具	735 億円	前期比 0.9%増
親会社株主に帰属する当期純利益	583 億円	前期比 12.5%増	その他	5 億円	前期比 41.5%増

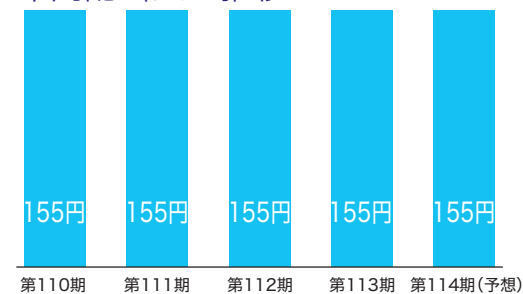
■ 連結貸借対照表 (要約)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



年間配当金の推移

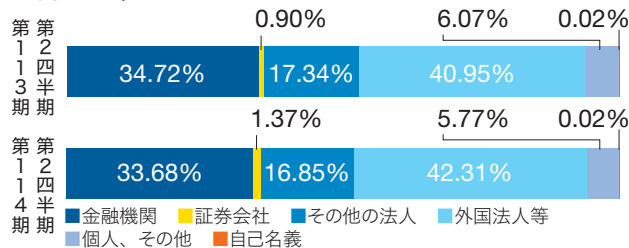


第114期の第2四半期配当金は、前年同期と同様の1株当たり77円50銭とし、年間配当予想額を前期と同様の1株当たり155円とする予定です。

株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、今後も安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行ってまいります。

- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 5,968名
- 単元株式数 100株

所有比率

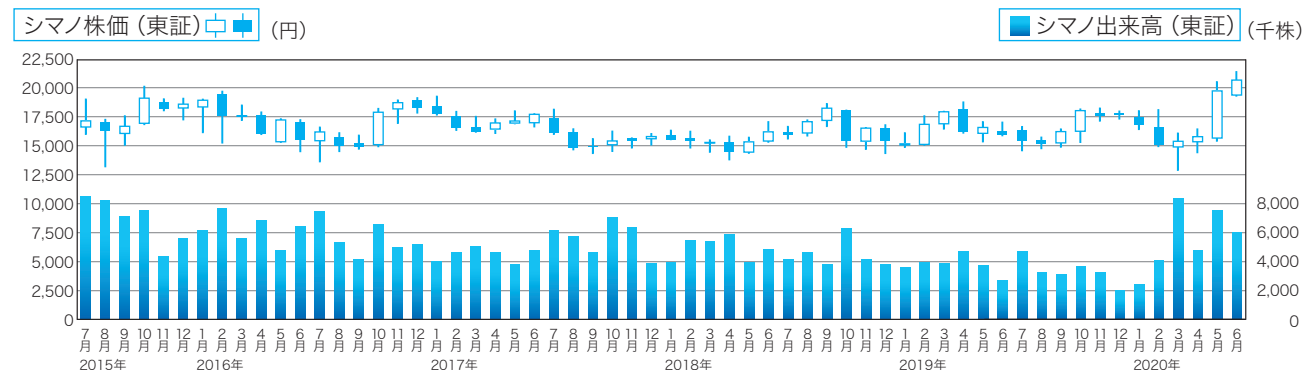
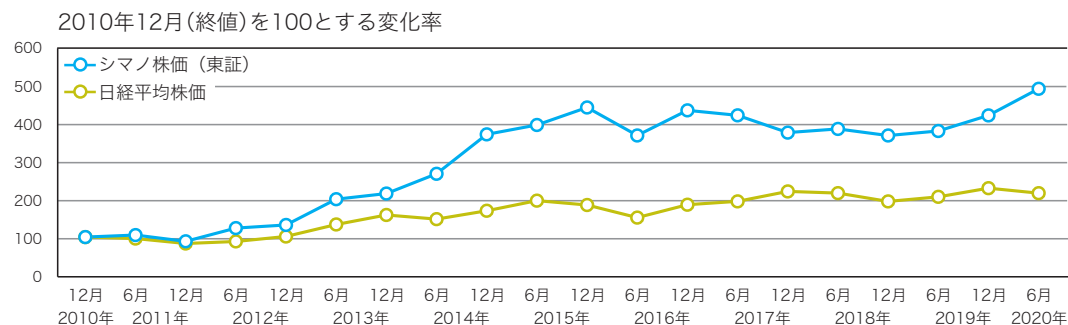


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,715	8.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,091	7.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,337	5.76
太陽工業株式会社	4,060	4.38
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,610	2.82
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱UFJ銀行	2,066	2.23
株式会社りそな銀行	1,711	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,542	1.66

(注)持株比率は自己株式(19,569株)を控除して計算しております。

株価チャート



社名 株式会社シマノ
 英文社名 SHIMANO INC.
 創業年月 1921年2月
 設立年月 1940年1月
 資本金 35,613百万円
 事業内容 自転車部品、釣具、ロウイング
 関連用品等の製造販売
 本社 〒590-8577
 大阪府堺市堺区老松町
 3丁77番地
 URL https://www.shimano.com

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	清谷 欣司
代表取締役副社長	角谷 景司	取締役	吉田 保
専務取締役	島野 泰三	取締役	金井 琢磨
専務取締役	豊嶋 敬	社外取締役	一條 和生
専務取締役	津崎 祥博	社外取締役	勝丸 充啓
常務取締役	チア チン セン	社外取締役	榊原 定征
取締役	樽谷 潔	常勤監査役	勝岡 秀夫
取締役	松井 浩	常勤監査役	平田 義弘
取締役	大津 智弘	社外監査役	野末 佳奈子
取締役	大竹 正浩	社外監査役	橋本 敏彦

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月
 基準日 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年6月30日
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告

当社のホームページに掲載いたします。
 (https://www.shimano.com)
 ただし、やむを得ない事由によって電子公告
 によることができない場合は、日本経済新聞
 に掲載いたします。

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031
 ホームページURL https://www.smtb.jp/personal/
 agency/index.html
 よくあるご質問(FAQ) https://faq-agency.smtb.jp/?site_
 domain=personal
 お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくある
 ご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

証券コード 7309